

『インクレチン時代の糖尿病診療』

インクレチンは主として食後のインスリン分泌を促進し、血糖コントロール改善するのみならず、糖尿病の成因である膵β細胞の脆弱性や肥満に影響するだけではなく、糖尿病の合併症への作用も期待されている。このようなインクレチン作用を発揮する薬剤が日本の臨床の場にも登場した。

第53回 日本糖尿病学会年次学術集会

イブニングセミナー1



インクレチン時代の糖尿病診療

座長

三家 登喜夫 先生

和歌山県立医科大学 臨床検査医学 教授

演者

山田 祐一郎 先生

秋田大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝・老年内科学 教授

日時：平成22年 5月27日(日) 19:00~20:00

会場：ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス
第2会場

イブニングセミナーは予約制でございます。予約をお済の方から優先的にご入場頂けます。
事前参加登録をされた方はセミナーの参加予約が可能となります。事前参加登録時に申し込まれていない方、
及び当日参加登録の方は、当日、会場の「共催セミナー参加受付」にてセミナー参加予約をお済ませください。

共催 第53回 日本糖尿病学会年次学術集会 / 小野薬品工業株式会社